

同更ラニ全國ニ於テ十萬俵ヲ減セラル、トセハ本縣ヘノ割當ハ約十一
萬四千俵トナリ、之ニ本年度割當原料ノ減産ニヨル不足ヲ考慮ニ入ル
レハ本年度ハ當初ノ割當ヨリ約二割餘ノ減産トナル勘定ニシテ、之カ
實施ノ曉ハ經營可成リ困難ニ陥ル向モアリト謂ハル。尤モ現在既ニ燃
料及女工不足ノ爲許容釜數ノ約一割程度ハ操業休止ノ状態ナレハ近ク
具體案ノ決定ヲ見ルトスルモ夫カ爲ニ業界ニ動搖ヲ來タスカ如キ懸念
無之模様ナリ。

五米ノ二重價格制實施決定ニ増産氣構ヘラル

今回決定セラレタル米穀生産者ニ對スル獎勵金交付並ニ管理米ノ買上
價格引上ケハ從來米價カ他物價ニ比シ極メテ割安ナリシ爲之カ引上ヲ

要望セラレ居リタル折柄農家ハ一般ニ好感、愈々増産ノ氣構ヘヲ示シ居レリ。唯發表ノ時期遅レタルコト、テ積極的ニ水田ノ開發若シクハ他作物ノ稻作ヘノ轉換ト云フ如キコトハ差當リ見ラレサルモ、消極的ニハ(一)從來米價安ノ爲自家ニテ消費シタル米ヲ供出スル者相當アルヘク、又(二)從來ノ米價ニテハ採算上不可能ナリシ雇傭勞力ノ使用カ可能トナリ精神的效果ト相俟ツテ増産ヲ期待セララル。

尙縣下ノ稻作ハ一時稍不良ト見ラレタルカ、其後ノ天候回復ト農家ノ努力ニ因リ病虫ノ蔓延モ喰止メ縣下一圓出穂期ヘノ發育ヲ急キツ、アリ、此儘順調ニ進マハ平年作ハ確實ト謂ハル。

參考計表

(一) 當店主要勘定

		八 月		前 月		前年同月	
兌換券	發行	八一八八	千圓	四二八七	千圓	九八一三	千圓
還收	還收	八六七三		六四六六		九八一八	
還收	超	四八五		二一七八		五	
爲替	入	九〇六〇		五三八〇		一三八三〇	
流出	出	六四〇〇		五八〇〇		五五五〇	
入	超	二六六〇		(出超) 四二〇		八二八〇	

(二) 取引先普通銀行主要勘定

	八月廿日現在	前月同日比	前年同月末比
預金	二〇九八三九 _千 圓	(+) 五三九五 _千 圓	(+) 五〇二六三 _千 圓
借用金	三五〇〇	(-) 一〇〇〇	(-) 一九〇〇
貸出金	九五〇二七	(+) 四〇七一	(+) 二〇三七
内製糸資金	三五〇三七	(+) 五三八九	(-) 六二七二
所有々價證券	八二、三〇五	(+) 三一六九	(+) 三一八五二
内國債	三九二〇三	(+) 五〇八	(+) 一五一七四
コイル回シ	二、三〇〇	(+) 二〇〇	(+) 一八五〇

支店長
次長

昭和十六年九月三十日

總裁殿

九月中縣下金融狀況別紙ノ通り御報告申上候也

松本支店長



昭和十六年九月中金融報告

松 本 支 店

一、縣内兌換券需要著減

二、銀行ノ製糸資金放出狀況

三、縣下銀行預金ノ增勢鈍化

四、生糸輸出杜絶ノ縣下農村ニ及ス影響

五、繭短纖維製造ヘノ轉換ト製糸業者ノ動向

一、縣内兌換券需要著減

月中當店兌換券ノ動キヲ見ルニ縣内初秋繭ノ出廻期トテ遠ニ月央以來
 出超ニ轉シ、月末迄ニ四〇五五千圓ノ發行超過ヲ見タルカ、之ヲ前年
 同月ノ出超一〇〇六四千圓ニ比スレハ實ニ五割九分ノ激減ナリ。更ニ
 春繭期以降ニ於ケル兌換券狀況ニ就キ見ルニ次ノ如ク當地方ノ資金放
 出期ナルニモ拘ラス現金ニ對スル需要著減セルヲ認メラル。

兌換券發行狀況 (單位千圓、△印還收超)

	六	七	八	九	計
	月	月	月	月	
本年發行超	三、四一四	△二、一七八	△四八五	四、〇五五	四八〇六
昨年	一四、四六八	△八、八二七	△五	一〇、〇六四	一五七〇〇

右ハ主トシテ爾價安及爾代金振込制ニ依ル現金使用ノ節約ニ基クモノト見ルヲ得ヘク、月末迄ニ當市ヨリ縣内各地ニ送金セラレタル夏秋爾資金ハ當初來累計一四五一〇千圓ト前年ノ二五二一五千圓ニ比シ約半減セリ。

二、銀行ノ製糸資金放出狀況

當地銀行ノ製糸資金貸出ハ春爾期ニ於テハ爾價安、減産等ノ事情ニ因リ約六割方ノ激減ヲ見タルモ、夏秋爾期ニ入りテハ春爾分精算金（前渡金貫當リ六圓ト爾代金全額トノ差額）ノ支拂ト重ナリタル爲メ貸出次第ニ増加シ結局端境期以降本月廿日迄ノ増加額八一八二二三千圓ト前年同期ニ比シ約四割五分ノ減少トナレリ。

管内銀行製糸資金貸出狀況

	本年	昨年
端境期（五月末）殘高	二一、一〇三 千圓	一三、七八四 千圓
春繭期ノ増加額（五月末―七月末）	八九五九	二四、六六三
九月二十日現在高	三九、三二六	四九、二七一（九月廿四日）
端境期以降増加	一八、二二三	三五、四八七

而シテ本年ハ古繭ノ持越多ク新繭操糸ニ取掛ル時期遅レタルニ加ヘ、
 安値輸出糸ノ壓迫ニ因リ國用糸ノ賣行不振ナレハ本年度新規放出資金
 ノ回收ハ相當遲延スル見込ナリ。

三、縣下銀行預金ノ増勢鈍化

縣下銀行ノ預金ハ本年上期迄順調ニ増加シ來リタルカ左表ニ明カナル

如ク下期ニ至リ俄然停頓 状態ヲ示シ注目セラレ居レリ。

縣内預貯金ノ一箇月間ニ於ケル平均増加率

	十五年上期	下期	十六年上期	七月	八月	九月廿日迄
銀行	二・五一%	二・四一%	二・五三%	〇・三六%	〇・九五%	一・一一%
郵便局	一・九八	二・四〇	一・三八	一・六八	一・九四	
信用組合	二・五〇	三・三六	一・五三	二・三七		

而シテ石ハ主トシテ次ノ理由ニ基クモノト見ラル

ノ縣下農村ノ主ナル現金收入ノ源泉タル養蠶收入カ本年ノ繭價安ニヨ
リ減少セルコト

二十五年年度製糸業績ハ些少乍ラ利益ヲ收メタル程度ナリシカ米國ノ本

邦資産凍結後ノ糸價低落ニ製糸家ハ之ヲ吐出シタル貌ニテ此方面ノ
預金増加カ見ラレサリシコト

3 商家ハ手持ノストツタヲ大體昨年末迄ニ賣盡シタルモ其後ノ仕入思
フニ委セス、斯クシテ生シタル餘剩資金ノ大部分ヲ預金トシタル方
本年ニ入りテヨリ斯カル臨時的預金ノ増加カナクナリタルコト

4 本年五月ノ木材統制法施行直前他府縣ノ材木商ニ山林ヲ賣却セルモ
ノ多數アリ此ノ代金カ預金増加ノ一因ヲナシタルモ下期ニ於テハ之
カ見ラレサルコト

而シテ一般ノ生計費昂騰ノ反面收入ノ増加望ミ難キ折柄今後ノ預金増
加ハ大シテ期待シ得スト豫測セラレ。

四、生糸輸出杜絶ノ縣下農村ニ及ス影響

米國向生糸ノ輸出杜絶ニ因ル糸價ノ低落ニモ繭價ハ變動ナク養蠶家ヘノ影響皆無ナルカニ見エタルカ、今回農林省當局ニ於テ主要食糧増産方策トシテ麥類ノ劃期的増産計畫遂行旁、輸出品トシテノ重要性ヲ減少セル生糸ノ生産壓縮ノ爲桑園ノ一段整理方針決定シ、茲ニ養蠶業者モ尠カラサル影響ヲ受クルニ至リタリ。

而シテ當縣ノ整理目標ハ九千町歩ト傳ヘラル、カ、今春蠶糸業統制ノ結果千二百餘町歩ノ整理ヲ行ヒタル後トテ、今亦新タナル目標ニ從ヒ整理ヲ行フトセハ縣下ノ桑園ハ前年ニ比シ約一割六分ヲ減少シ夫レタケ農村現金收入ノ減少ヲ來スノミナラス如何ニ繭價カ六〇掛ト低位ニ

決定セラレタリトハ謂へ、裏作ヲ考慮スルモ尙養蠶ハ麥ヲ作ルヨリハ有利ナレハ農家戸數ニ對スル養蠶戸數ノ比率約七割ニ及フ當縣トシテハ之カ縣下農村ニ及ス影響尠ナカラサルモノアリ。農家ハ一般ニ桑園整理カ現下ノ食糧問題上止ムヲ得ストシ國策順應ノ態度ヲ示シ居ルモ、養蠶農家ノ現金收入ノ途ヲ如何ニシテ補填セシムヘキカハ今後ノ重大問題ナリトセラレ居レリ。

五 繭短纖維製造ヘノ轉換ト製糸業者ノ動向

去ル廿四日開カレタル第二回蠶糸委員會ニ於テ、米國ノ本邦資産凍結ニ伴フ同國向生糸輸出ノ杜絶ニ鑑ミ本年度器械生糸ノ生産計畫五十五万俵ノ中十萬俵ヲ削減、因ツテ生スル餘剩繭ハ總テ短纖維ノ製造ニ振

向クル旨決定セラレタルカ、之ニ依リ製糸業者ハ昨夏以來三割六分ノ
釜數整理後更ニ今回約一割八分ノ生産制限ヲ受クルコト、テ全設備釜
數ノ約半數ヲ過剩設備トシテ有スルコト、ナレリ。而シテ小規模業者
ノ群立シ居ル當地方ニ於テハ之ニ依リ經營困難ニ陷ルモノ少ナカラサ
ルヘシト憂慮セラレタルカ、廿六日開催ノ全國製糸業組合聯合會ニ於
テ、生糸年産二千貫（三十釜）未滿ノ業者ハ短纖維工場ノ共同經營ヨ
リ除外シ、從ツテ生糸製造割當ノ縮減ヲモ行ハサルコトニ決定セラレ
タル爲メ、小規模業者ハ漸ク愁眉ヲ開キタリ。
然レ共短纖維ノ單獨經營ヲ認メラレタル年産八万貫以上ノ大製糸家ハ
暫ク別トシ、夫レ以下ノ中小製糸家ハ共同ニテ短纖維ノ製造ニ參加ス

ルモ之ニヨリ今回ノ生糸製造割當削減ニヨル利潤ノ減少ヲ補填スルコ
トハ至難ト見ラレ、蠶糸業統制ニヨリ斯業ノ甘味ナクナリタル折柄生
産ノ合理化ヲ圖ル爲ニモ企業ノ合同ハ必至ナルヘシト見ラル。

考計表

(一) 當店主要勘定

九 月 前 月 前年同月

兌換券	發行	還收	發行	爲替	流入	流出	入超
九七六九千圓	八一八八千圓	八六七三	四〇五五	七四五〇	九〇六〇	二七〇〇	四七五〇
一五二三七千圓	五一一七三	一〇〇六四	(還收超) 四八五	二六六〇	六四〇〇	一五九三〇	一三、七九〇
三	一〇〇六四	一〇〇六四		二、一四〇	二、一四〇	一、五九三〇	一、三、七九〇

(二) 取引先普通銀行主要勘定

	九月廿日現在	前月同日比	前年同月末比
預金	二〇九七八一千圓	(+) 五八千圓	(+) 五〇六三五千圓
借用金	五七〇〇	(+) 二二〇〇	(-) 八六五〇
貸出	九九三五三	(+) 四三二六	(-) 三五九八
内製糸資金	三九三二六	(+) 四二八九	(-) 一〇九八七
所有々價證券	八五一二三	(+) 二八一八	(+) 三三三八八
内國債	三九三三九	(+) 一三六	(+) 一五二一一
ヨールロイン	一、二〇〇	(+) 一〇〇	(+) 一〇〇



昭和十六年十一月一日

松本支店長

支店長
次長



總裁

十月中縣下金融狀況別紙ノ通り御報告申上候也



昭和十六年十月中金融報告

松 本 支 店

- 一、内閣更迭ト當地製糸業界ノ動向
- 二、製糸資金貸出最高期ノ變貌ト預金増勢幾分好轉
- 三、蠶糸統制會社代行事務所ノ生糸買上開始
- 四、配給機構ノ整備統合ハ自發的ニ進捗シツ、アリ
- 五、作付統制ノ實施ト主要食糧増産運動ノ具體化
- 六、長野縣金融懇談會開催

一、内閣更迭ト當地製糸業界ノ動向

中旬内閣ノ更迭アリ、新内閣ノ對米重大決意カ豫想セラレタル爲、滞
貨累増旁々休日明ケノ輸出糸價ハ一五〇〇圓臺割レヲ演シタルカ、相
場ハ依然採算圈内ニ在ルコト、テ當地製糸業界ハ極メテ落着ヲ示シ居
レリ。其反面ニ於テ、之迄外交々涉ニ依ル生糸ノ對米輸出再開ヲ期待
シ、過剩設備ノ整理及短纖維ノ製造ニ付テハ極メテ消極的態度ヲ持シ
居リタル業者モ今回ノ内閣更迭前後ノ情勢ヨリシテ對米輸出再開ハ望ミ
薄トナリタリトシ、愈々業者自體ノ整理統合ノ氣運濃厚トナレリ。只
短纖維製造ヘノ轉換ニ付テハ斯業ノ永續性ニ可成リ懸念ヲ有スルモノ
、如ク、設備機械ノ如キモ出來得ル限り費用ノ掛ラヌ方式ヲ用ヒ、何

時ニテモ再ヒ生糸ノ製造ニ轉換シ得ル態勢ヲ採リ居レリ。而シテ右ノ理由ハ今回全國ニ於テ十萬町歩ニ迫フ桑園整理ノ方針決定セラレ、之ニ依リ明年以降ノ產繭量減少シ、場合ニヨリテハ短纖維ニ振向ケラル、原料繭ノ過少トナルヘキコト、及一朝輸出再開トモナレハ短纖維ハ殆ト顧ラレサルニ至ルヘキコト等ヲ危惧セルニヨルモノト見ラル。

ニ製糸資金貸出最高期ノ變貌ト預金増勢幾分好轉

製糸資金ノ貸出ハ例年本月央ヲ以テ最高ニ達シ、以後回收ニ轉スルヲ常トセルカ、本年ハ秋繭精算金カ購繭一段落後モ支拂ハレツ、アル爲、最高期ヘノ到達ハ左表ニヨリテモ窺ヒ得ル如ク可成リ遲延スル傾向アリ。

管下銀行製糸資金貸出残高

前年	本年	同下旬残高
五三、六二七	四四、八四九 <small>千圓</small>	四五、六一八 <small>千圓</small> (廿日)
		五二、六五四 (廿四日)

サレハ秋爾代金撤布以後ニ於ケル當店兌換券ノ回歸ハ前年ニ比シ鈍調ヲ示シ、九月中發行超過額ニ對スル今月ノ還收率ハ二二・二% (昨年五八・四%)ニ止マレリ。

次ニ管内銀行ノ預金増勢ハ本年下半年二期ニ入り鈍化ヲ示シ居リタルモ最近稍々見直シ來レリ。即チ都市方面ニ於テハ取扱商品ノ不足ニ商況沈滞シ預金増勢依然渺々シカラサルモ、農村方面ニ於テハ秋爾精算金ノ大部

分カ預貯金トシテ殘レルニ加へ、粟、豆、野菜等ノ豐作ニ潤ヒテ預金ノ増勢ハ幾分回復ヲ示スニ至レリ。

而シテ斯ク預金ノ増勢挽回セルニモ不拘、當店兌換券ノ回歸歩ムシカラサルハ製糸資金放出カ月央後モ引續キ行ハレツ、アル爲ト見ラル。

三、蠶糸統制會社代行事務所ノ生糸買上開始

當地蠶糸統制會社代行事務所ハ市中滯貨累増ヲ他所ニ本社ヨリ送金ナキコトヲ理由トシテ買上ヲ行ハス、非難ノ的トナリ居リタル處、最近漸ク買上ヲ開始スルニ至リ製糸業界稍々明朗トナリタル感アリ。

乍併、實際問題トシテハ統制會社ニ買上申込ヲナスモ代行事務所ニ於テ一定數量ニ達スル迄溜メ置キ、然ル後之ヲ本社へ報告シ、本社ヨリ

ノ送金ヲ俟ツテ買入ヲナス方法ヲ採ル爲、申込ヨリ買上ニ到ル迄約一ケ月ヲ要スル模様ニシテ、製糸家ハ製品ノ資金化ヲ急ク關係上現在迄ノ處申込ヲナスモノ無ク、僅ニ國用糸問屋カ目下賣行不振ノ一、二等格品ヲ持込ムニ過キサル状態ナレハ、當地代行事務所ニ一定ノ買上基金ヲ準備シ置ク等ノ方法ニヨリ迅速ナル買上ノ行ハル、様要望セラレ居レリ。因ニ月末迄統制會社カ買上ケタル國用糸ハ五七六捆ナリ。

四、配給機構ノ整備統合ハ自發的ニ進捗シツ、アリ

配給機構ノ整備統合ハ物資ノ配給ヲ圓滑適正化シ、勞務ノ需給ヲ調整シ、生産ノ増進ヲ期スル爲ニ緊急ノ要務ナルノミナラス、今ヤ業者ノ生活安定上急速ナル實現ヲ要望セラレツ、アリ。當縣ニテハ曩ニ公布

實施セラレタル生活必需物資統制令ニ基キ、之ニ該當スル物資並ニ之ニ準スル物資ノ配給機構ヲ中心トシテ全般的再編成ヲ企圖シ、之カ具體的要綱案ヲ作成、先般來各關係者團體ニ提示シ其意向答申方ヲ指令シタリ。業者ハ之ニ對スル態度決定並ニ今後ノ對策等ニ就キテ各寄ル協議ヲ遂ケ既ニ答申ヲ了シタル模様ナルカ、産業組合ト商業組合トノ兩答申ハ其活動地域及取扱物資等ニ就キ懸隔甚敷ク、農村必需物資ノ配給ヲ巡リテ兩者間ニ論議ヲ醸スニ至レリ。當局ハ目下之カ調整ニ努メ居リ、近ク改正案ノ提示アルヘシト傳ヘラレ成行注目セララル。乍併現在機構ノ不合理性ハ何人モ認ムル所ニシテ殊ニ業者ノ立場ヨリスレハ、組合ノ重複加入、之ニ伴フ經費ノ増嵩、取扱手續ノ煩雜等改

善ヲ要スル事項幾多存在スルノミナラス、取扱物資ノ減少ト其配給偏倚ハ益々單獨經營ヲ困難ナラシメ惹イテハ生活ノ脅威ヲ云爲スル向モアリ。之カ爲同業者ノ相互補償制度等ニ依ル轉廢業又ハ半轉業モ漸次其數ヲ増シ、自發的企業合同モ各方面ニ現ハレ、一般ニ時局ノ要請ノ不可避ヲ認識シ、再編成ニ理解協力若クハ順應ノ態度ヲ示シ居レリ。

五 作付統制ノ實施ト主要食糧増産運動ノ具體化

政府ハ先般緊急食糧對策ヲ決定シ、之ニ基ク具體的施策トシテ桑、茶果樹、薄荷、煙草等ノ作付整理並ニ轉換ヲ行ヒ麥類、芋類、野菜等戰時主要食糧ノ増産ヲ圖ルコト、ナリ、各府縣ノ整理割當面積モ決定セラレタレハ、本縣當局ニ於テハ本月中旬、町村長會、縣農會、養蠶實

行組合聯合會、翼贊會支部、農業協力會等關係各役員ノ參集ヲ求メ、右決定ニ基ク舉縣一致ノ増産運動ヲ開始スヘク積極的協力ヲ要請セルカ、其整理並ニ作付轉換ヲ要スヘキ面積ハ次ノ如シ

桑園整理	九〇七〇町步	隔畦拔株	二六三六町步
隔畦交互拔株	一二〇四三	果樹園	二五
花キ園	一九		

右ノ内桑園整理ノ實際面積ハ一四四〇〇町步ニシテ現桑園面積六三、〇〇〇町步ノ二三%強ニ當リ、之ニ因リ減産ヲ豫想セラル、爾ノ價額ハ約千七百萬圓ト推算セラレ、縣下養蠶農家ニ及ホス影響ノ甚大ナルニ鑑ミ、縣當局ハ關係業者團體ノ答申ヲ求メ是カ對策ニ慎重ナル考慮ヲ

拂ヒ居レリ。

尙縣當局ハ作付ノ制限並ニ轉換等ヲ強制的ナラシメンカ爲、臨時農地作付統制規則ニ基ク細則ヲ制定シ、主要食糧作物五種、耕作制限作物十三種類ヲ指定セリ。他面自給肥料ノ獎勵、肥料配給ノ繰上ケヲ行ヒ、或ハ勤勞奉仕隊ノ協力ヲ求ムル等極力積極的増産ヲ行フコト、ナレリ。

六 長野縣金融懇談會開催

縣下金融機關ノ預貯金利率ハ金融懇談會ヲ通シ縣當局並ニ當店ノ指導ニヨリ近來殆ト平準化セラレタルモ、從來農村信用組合ハ埒外ニ置カレタル爲此方面ニ依然高金利ノモノアリ遺憾ノ點アリタルヲ以テ本月三十一日長野市ニ於テ金融懇談會ヲ開催シ、其際農村信用組合ヲモ之

ニ加入セシメ貯金利率ヲ銀行並迄引下ケシムルコト、ナリ、茲ニ縣内
金利ノ平準化ハ一段落ヲ告ケタリ。

(一) 當 店 主 要 勘 定

十 月

前 月

前 年 同 月

兌 換 券

發 行

四、二五九

千圓

九、七六九

千圓

二、六九二

千圓

還 收

五、九九七

五、七一四

九、八一八

還 收 超

一、七三八

(發行超)

四、〇五五

七、一二六

為 替

流 入

八、〇五〇

七、四五〇

三、七一〇

流 出

四、一三〇

二、七〇〇

五、七八八

入 超

三、九二〇

四、七五〇

(出超) 二、〇七八

(二) 取引先普通銀行主要勘定

項目	十月廿日現在		前月同日比		前年同月末比	
	金額	千圓	金額	千圓	金額	千圓
預金	二一六五五	五	六七七四	四	五二二四	五
借用金	八五〇〇		二八〇〇		四二〇〇	
貸出	一〇七六四	〇	八二八七		二二八八	
内製糸資金	四五六一	八	六二九二		六三九五	
所有々價證券	八八五八	四	三四六一		三三五三	〇
内國債	三九八三	一	四九二		一五六七	四
ヨーロッパローン	五〇〇		七〇〇		二〇〇	

(三) 取引先普通銀行製糸資金貸出

	本年	前年	比較
十月十五日殘高	四四、八四九千圓	五三、六二七千圓	(-) 八、七七八千圓
端境期以降増	二三、七四六	三九、八四三	(-) 一六、〇九七



昭和十六年十一月二十九日

松本支店長



總裁殿



十一月甲縣下金融狀況別紙ノ通り御報告申上候也



上野

Handwritten text on the adjacent page, including vertical columns of characters and some faint markings.

昭和十六年十一月中金融報告

松 本 支 店

- 一、米穀配給並ニヨリ返濟資金ノ移動ニ金融稍繁忙
- 二、製糸資金回收ハ目下鈍調ナルモ越年後順調ニ推移セン
- 三、増税見越買溜ニ銀行預金依然伸惱ミ
- 四、製糸家ノ細物繰糸ノ矛盾ニ就テ
- 五、蘆短纖維ノ規格並ニ價格ハ速ニ決定ノ要アリ
- 六、管内銀行ノ貸出金利協定成立ス
- 七、木炭生産狀況

一、米穀配給並ニヨル返濟資金ノ移動ニ金融稍繁忙

縣下經濟界ハ愈々大詰ニ近ツキタル日米會談ノ成行ヲ凝視シツ、一段ト緊張ヲ加ヘツ、アリ。斯カル情勢下ニ於ケル管下金融狀況ヲ見ルニ、月初來製糸資金ノ弗々回收ト中旬地方分與金ニ三〇〇千圓ノ交付アリタルコト等ニ因リ銀行ノ手許稍緩和シ前月末三二〇千圓ニ上リタル當店貸出殘高ハ中旬末ニハ七〇〇千圓ト減シタルカ、其後米商聯所要資金ニ〇〇〇千圓ヲ首メトシ中央市場硬化ヲ反映シヨル返濟資金等當地トシテハ比較的大口資金需要相踵キタレハ、預金ノ増加並ニ製糸資金ノ回收共ニ捗々シカラサル折柄月末ニ接近シ當店ニ融資ヲ仰クモノ多ク、結局當店ノ月末貸出殘高ハ四四〇〇千

圓トナリタリ。此間興債引受資金三八〇千圓ノ外納稅資金ノ移動モ織込マレ月央後ハ概ネ繁忙裡ニ推移セリ。

二、製糸資金回收ハ目下鈍調ナルモ越年後順調ニ推移セン

取引先銀行ノ本年度製糸資金ハ例年ヨリ半月遅レ十月末ヲ以テ最高ニ達シ、其殘高四千五百三十萬圓、端境期以降ノ増加額ハ二千四百二十萬圓トナレリ。之ヲ前年ニ比較スルニ前者ニ於テ八百二十萬圓後者ニ於テ千五百五十萬圓ノ激減ナリ。右ハ繭價安ト製糸家ノ仕入數量ノ減少ニ主因スルモノナルカ、端境期以降ノ増加額カ前年ニ比シ激減ヲ示シタルニ對シ最高期殘高カ比較的ニ減少セサリシハ、本年ハ製糸家ノ古繭持越多ク端境期ニ於ケル貸出殘高カ脹ミタルニ因

ル。

次ニ之カ回收狀況ニ付見ルニ目下ノ處未タ秋繭精算金カ支拂ハレツ
、アルコト、テ月初來二十日迄ノ回收額ハ僅々一八二一千圓ト回收
振り抄々シカラサルカ、斯カル調子ハ精算金ノ支拂カ終了スル迄續
クモノト見ラル。乍併、之カ一段落後ハ例年ノ如キ乾繭仕入資金ノ
所要ナク、旁々蠶糸業統制ノ結果相場ニ對スル思惑ノ餘地殆ント無
クナリタレハ製糸家ハ製品ヲ出來次第賣却スヘキヲ以テ越年後ノ回
收ハ順調ニ推移スルモノト豫想セララル。

三、増稅見越買溜ニ銀行預金依然伸惱ミ

十九、二十日ノ兩日行ハレタル恒例ノ夷講賣出モ本年ハ業者ノ自肅

ニヨリ福引、催物等一切ナカリシコト、折柄ノ細雨ニ人足疎ラニテ
例年ノ如キ雜踏ハ全ク見ラレサリシカ、夷講トハ別ニ十二月一日ヨ
リ實施サルヘキ物品稅ノ加重ヲ見越シテ頃來絹織物ヲ首メ皮革製品
其他一般ニ高價品ノ買溜盛ニ行ハレ各商店ノ賣却高ハ近來ノ多額ニ上
リタリト謂フ。

右情勢ヲ映シ管内銀行ノ預金ハ月初來二十日迄ノ増加額三八七一千
圓ト前年同期ノ増加額五六二千圓ニ比シ百七十萬圓餘ノ著減ヲ示
シ、時局下益々貯蓄増加ヲ要請セラレツ、アル際極メテ憂慮セラレ
居レリ。而シテ斯ル浮動購買力ノ抑制ノ爲ニハ増稅及貯蓄獎勵モサ
ルコト乍ラ單ニ食料品ノミニ止ラス衣類ニ對シテモ切符制若ハ點數

制ヲ採用スル要アリトノ意見モ行ハレ居レリ。

四、製糸家ノ細物繰糸ノ矛盾ニ就テ

農林省發表ニヨレハ本年六月以降十月末迄ノ器械生糸製造高ハ二十四万七千俵ニテ月平均約五万俵ナルカ本年度器械生糸製造豫定額四十五万俵ヨリセハ殘ル處二十万俵トナリ、之ヲ十一月ヨリ明年五月ニ至ル七ヶ月ニテ割レハ月平均三万俵弱トナル勘定ナリ。斯クテ製糸家ハ従前通りニ操業スルトキハ越年後二、三ヶ月ニテ製造割當量ヲ挽盡スコト、ナリ先行長期ノ休業ハ工女ヲ離散セシムルコト、ナルヲ以テ、出來得ル限り操業期間ヲ引延サントシ、就業時間ヲ短縮スル等ノ方法ヲ講スル外、大製糸ニ於テハ目下十四中ヲ中心トスル繼

織度物ヲ繰糸シツ、アリ。然ルニ消費方面ハ現在専ラ内需ノミニテ
國內ニ於テハ十四中等ノ細物ヲ使用スルコトハ極メテ少ク主トシテ
廿一中以上ノ太物特ニ織物規格ノ整理單純化ニ伴ヒ廿八中、四十二
中等ノ特太織度物カ需要セラレツ、アル状態ナレハ、此處ニ製糸家
ノ細物繰糸ニ對スル問題アリ。

即チ製糸家ハ實需ノ如何ニ拘ラス一定ノ糸ヲ製造セハ所定ノ價格ニ
依リ蠶糸統制會社ニ買上ケラル、ヲ以テ専ラ自己ノ懷勘定ヨリ繰糸
シ、統制會社亦規定ニヨリ買上ケ居ルモ、統制會社ト雖モ結局ハ消
費者ニ賣却スルヲ要スルモノナレハ實需ニ即セサル物ヲ多量ニ手持
スルコトハ考ヘモノニテ、此際統制會社ハ國民衣料ノ必要トスル糸

ヲ生産スルヤウ製糸家ニ對シ注文ヲ發スル要アリトノ意見一部ニ行ハレ注目セララル。

五短纖維ノ規格並ニ價格ハ速ニ決定ノ要アリ

縣下ノ短纖維工場ハ單獨經營ノ二工場ノ外産組關係ヲ除キ營業製糸ノ共同經營ニヨル工場カ北信（長野）、中信（松本）、南信（岡谷）ノ三ヶ所ニ各々機械八十臺ヲ備へ設立セラレ何時ニテモ事業ヲ開始シ得ル態勢ヲ整へタリ。

然ルニ繭短纖維製品ノ規格殊ニ價格ニ付テハ業者ト紡績業者トノ間ニ相當意見ノ懸隔アリ。之ニ對スル關係當局ノ態度決定セサル爲業者ハ何ノ程度ノ製品ヲ生産スヘキヤ或ハ製品カ幾何ニ賣却シ得ルモノ

ナリヤニ付見當付カス、從ツテ設備完備セルモ本格的ニ事業ヲ開始セルモノ皆無ニテ目下機械一、二臺ヲ動カシ試験的操業ノ範圍ヲ出テサル状態ナレハ他纖維不足ノ折柄繭短纖維ノ出廻リヲ促進スル爲速ニ之カ規格並ニ價格ヲ決定セラル、コトカ要望セラレ居レリ。

六、管内銀行ノ貸出金利協定成立ス

蠶糸業統制ヲ首メトシ近來着々進メラレツ、アル諸種ノ物資配給統制強化ニ因リ銀行貸出ノ危険負擔ハ輕減セル反面、融資分野著シク狭メラレタレハ銀行間ノ貸出競争漸ク熾烈ニテ、殊ニ新ニ組織セラ
ル、統制團體等ニ對シテハ資金賣込競争最モ烈シク、之レ弊害ハ漸次顯著トナリ來レリ。斯クテハ地方金融安定ノ爲ニモ面白カラサル

ヲ以テ當店ニ於テハ管下銀行間ニ於ケル貸出最低利率ノ協定方懸瀟シタル結果、管内本支店銀行ノ各代表者ハ二十八日當店ニ會合、茲ニ縣下全般ニ亘ル銀行ノ貸出金利協定成立セリ。

七木炭生産狀況

本縣ニ於ケル十六年度木炭生産目標高ハ三千万貫ニテ三月以降八月末迄ノ五ヶ月間ニ一、七七七千貫ヲ生産シ前年同期ニ比シ四三三千貫ヲ増加シタルコト、テ目標突破モ容易ト謂ハレタル處、九、十兩月ノ生産高ハ前年比約二割五分方著減シ、事態此儘ニ推移セハ目標到達至難ト見ラル、ニ至レリ。而シテソノ原因トシテ
一、八月十一日附ヲ以テ縣ノ木炭規格改定セラレタルカ、之ニ據レハ

從來二等格ニ合格セシ原生林及ヒ比較的劣等樹種ヲ以テ生産セララル、木炭ノ大部分カ新規格三等トナリ、爲ニ十五疋公定價格ニ於テ白炭二十四錢黒炭二十一錢ノ値下リトナル勘定ニテ、下級品ニ付テハ採算不引合トナリ業者ノ製炭熱意減少セルコト

2 秋ノ穫入關係ニテ製炭勞力ニ不足ヲ來シタルコト
等擧ケラレ居ルモ右ノ外トラツタノ徵發、ガソリンノ不足等ニ因リ搬出カ不圓滑トナリタル爲竈元滞荷多量ニ上リ、此ノ中検査未了ノモノカ生産高ニ加算セラレサル關係ニテ數字上減少セル部分モ相當アリト謂ハル。而シテ竈元滞貨ニ付テハガソリン増配、勸勞奉仕隊ノ援助等ニ依リ極力搬出策講セラレツ、アリ。

參考計表

(一) 當店主要勘定

		十一月	前月	前年同月
兌換券	發行	三、九一三 千圓	四、二五九 千圓	五、二九六 千圓
	還收	四、八九九	五、九九七	五、一六〇
	還收超	九八六	一、七三八	(發行超) 一三六
爲替	流入	五、七九〇	八、〇五〇	九、〇一〇
	流出	五、六八〇	四、一三〇	四、八四一
	入超	一一〇	三、九二〇	四、一六九

(一) 取引先普通銀行主要勘定

	十一月廿日現在	前月同日比	前年同日比
預金	二一八、二二一 <small>千圓</small>	一六六、六 <small>千圓</small>	一四八、二八八 <small>千圓</small>
借用金	六五〇〇	二〇〇〇	二六〇〇
貸金	一〇六、二六八	一三七二	三三三九
内製糸資金	四三、五六三	二〇五五	三八三七
所有々價證券	八九、三一九	七三五	三五五七三
内國價	四一、六五九	一八二八	一七〇五一
目一ル目一シ	七〇〇	二〇〇	七〇〇

(三)管内銀行製糸資金調達状況

自五月末日
至十月末日

(單位千圓)

	本年		前年(十月十五日)		比較	
	金額	割合	金額	割合	金額	割合
最高期迄製糸資金貸出増加	二四、二八一		三九、八四三		(-) 一五、五六二	
右 調 達						
預金増加有價證券購入差引)	二〇八	〇.八%	四、九一三	一二.一%	(-) 四、七〇五	一一.三%
借 用 金	八、八五〇	三七.五	三、九五〇	三四.四	(-) 五、一〇〇	(+) 三.一
内 當 店 ヲ リ	三、〇〇〇	一二.七	四、八五〇	一二.九	(-) 一、八五〇	(+) 〇.八
製糸家以外ノ貸出 同收	一、二六九	五.三	五、七三六	一四.一	(-) 四、四六七	(-) 八.八
引 取 金 同 收	二、一五〇	九.一	六、七七〇	一六.七	(-) 四、六二〇	(-) 七.六
現金 預ケ金 減少	四、一〇八	一七.四	五、一〇二	一二.二	(+) 三、五九六	(-) 一.六二
本店ヨリ送金(安田) 其他	七、〇〇九	二九.七	八、五九三	二一.二	(-) 一、五八四	(-) 八.五
合 計	二三、五九四	〇〇.〇	四〇、四七四	〇〇.〇	(-) 一六、八八〇	(-) 一



昭和十六年十二月三十一日

支店長



長



總裁

十二月中縣下金融狀況別紙ノ通り御報告申上候也

松本支店長



昭和十六年十二月中金融報告

松 本 支 店

一 對米英開戰ト當地經濟界

二 年末金融稍繁忙ヲ平穩越年

三 株式ニ對スル投機熱昂揚ノ氣配ニ自戒ヲ要望ス

四 管下本店銀行ノ下半季業績

五 農繁期ニ勞力供出ノ爲製糸家ノ冬期休業短縮

六 長野縣ニ於ケル土曜半休廢止ニ就テ

七 貯蓄目標額改訂ト今後ノ見透シ

對米英開戰ト當地經濟界

對米英宣戰布告ニモ豫テヨリ此爭アルヲ充分覺悟セルコト、テ當地經濟界ハ聊カモ動搖ノ色ナク、却ツテ頃來ノ暗雲一掃旁々相塵ク撥報ニ人心一般ニ明朗トナリタル感アリ。

縣下銀行預金ノ如キモ之ヲ映シ月初來廿日迄ノ増加額四五五千圓ト前年同期ノ増加額ニ比シ八十五萬圓餘上廻ルノ好調ヲ示シタルカ、時局下萬一二備フル爲各行共手許準備ヲ增強、所有々價證券ヲ當后ニ持込ミ据直保證ノ増額或ハ保護預ケニ爲ス等非常對策ヲ一段強化セリ。

又本縣主要産業タル製糸業ハ變ニ蠶糸業統制法ヲ根幹トシ米國ノ不振ヲ資産凍結ヲ轉機トシテ完全ニ内需へ轉換セル爲影響皆無ニテ、殊ニ當

地製糸家ハ既ニ大部分ノ輸出糸製造割當量ヲ挽盡シタレハ殘ル國用糸ハ公定價格ニテ買上ケラル、コト、テ相場ノ騰落ニハ一向無關心ノ模
様ナリ。

二年末金融相繁忙乍ラ平穩越年

前載ト共ニ管下金融機關ハ萬一ニ備へ手許準備ノ增強ヲ圖リ、此資金大略百萬圓ニ上リタル外、政府米買上進捗ニ伴ヒ本年特ニ増加セル米穀代金支拂資金其他恒例ノ年末決算資金需要等競合シタル爲、預金順調ニ伸ヒ製糸資金亦弗々乍ラ回收シツ、アルモ銀行ノ手許ハ通月寛カス、當店貸出ハ最高六四〇千圓（二十九日）ニ達シ、昨年ノ最高（二十七日）ニ比シ百萬圓ヲ増加セリ。尤モ末日ニハ一部資金ノ回歸アリ

タレハ、國債購入ニ、五〇〇千圓アリタルニ加ヘ三十一日當店へ返済ニ、
五〇〇千圓等アリ、平穩種ニ越年セリ。

三、株式ニ對スル投機熱昂揚ノ氣配ニ目戒ヲ要望ス

近來商人筋ニ於テハ取扱高品ノ僅少ニ自然手許ニ餘裕ヲ生シ之カ好前
資口ヲ求メツ、アリシ處、對米英請戰以來株價ノ強調ヲ眺メ之ニヨリ
一儲ケセントスル者相當アルモノ、如ク、當地一流株式店へノ來客ハ
請戰以前ノ雨散時ニ比シ七、八倍乃至十倍ニモ上ルト謂ハル。之ヲ表
行ニ付見ルニ、注文ノ殊カ急速ニハ手ニ入ラヌト云フ事情モアリ且ツ
清算取引カ相當多キ模樣ノコト、テ目下ノ處預金及貸出ニハ格別ノ影
響ナク、有價證券荷爲替取扱高カ若干増加ヲ見タル程度ナリ。

斯カル情勢ニ付テハ縣當局ニ於テモ時局柄面白カラストシ一般ニ對シ
長期戦ノ覺悟ヲ強調、自肅ヲ要望セルカ、當店トシテモ念ノ爲管下銀
行ニ對シ思惑資金ノ抑制方ニ付注意ヲ喚起スル處アリタリ。

四、管下本店銀行ノ下半季業績

管下音速本店銀行四行ノ下半季業績ヲ綜合スルニ、預金ハ一般商取引
ノ不振ニ加ヘ縣下農村ノ主要收入源タル産繭ノ減少並ニ價格安ノ爲伸
縮ミ、十月以降漸ク増勢回復シタルモ本月二十日迄ノ増加額ハ一三、六
四五千圓（前年下半季増加額二〇、六四二千圓）ニ止マリタリ。
一方貸出ハ變糸資金放出期ノコト、テ千二百万圓ヲ増加シ、有價證券
ノ増加額亦千二百万圓ヲ超エタレハ預金及借用金増加ニ基ク支拂利子

增高ヲ考慮スルモ尙經常收益ハ若干同上セリ。然ルニ今季ハ有償証券
賣買益カ僅少ニテ前季ニ比シ可成リ遜色アルモ諸銷却ハ前季並ニ行ヒ
タル爲臨時収益ニ於テ減少シタレハ、結局純益金ハ稍増加セル程度ニ
テ大體前季同様ノ業績ヲ収メ、配當ハ孰レモ据置ノ豫定ナリ。

五 農業繁期ニ勞力供出ノ爲製糸家ノ冬期休業短縮

縣下製糸工場ハ全部二十七日頃迄ニハ閉業シ、明年ハ早キモ二月上旬
頃ヨリ春挽ヲ開始スル豫定ナリシモ、縣ニ於テハ今回縣製糸業組合及
産組製糸組合ニ呼掛ケ春挽ノ開始ヲ出來得ル限り速ニ着手、繰糸能率
ヲ最高度ニ發揮シテ尠ク共明年五、六月ノ農業繁期ニハ從業者全部ヲ歸
農セシメ食糧増産ニ協力セシムルコト、セルカ、之ニヨリ動員シ得ル

男女工ハ約四万五千一人（内男工約八千人）ト謂ハル。

縣下各地製糸家ハ石越旨ヲ體シ冬期休業ヲ短縮シ大體一月半頃ヨリ春
挽ヲ開始スル豫定ナルカ、之ニ伴ヒ嚴寒期ノ繰糸期間長クナルコト、
テ燃料ノ特配方ヲ要望シ居レリ。

六長野縣ニ於ケル土曜半休廢止ニ就テ

長野縣ニ於テハ望戦下國民ノ一層緊張ヲ要スル秋、土曜半休ノ制度ヲ
存置スルハ面白カラストシテ官公署卒先之ヲ廢止スルコト、シ、金融
機關ニ對シテモ縣ヨリ之カ協力ヲ求メラレタルカ、産業組合ハ逸早く
之ニ賛成、銀行モ望戦目的達成ヲ期シ貯蓄増強ノ國策ニ一層順應ノ爲
原則トシテ預金ノ受入ヲ平日通り行フコト、シ富店ニ便宜供與方願由

アリ、郵便局ヨリモ同様ノ依頼アリタレハ當店ニ於テハ過超金及銀行ノ資金受入ニ限り土曜日午后三時迄特別取扱ヲスルコト、シ、茲ニ縣下一齊二十七日ヨリ土曜半休廢止ヲ實施セリ。因ニ土曜日ニ於ケル當地手形交換時間ハ從前ト變リナシ。

七貯蓄目標額改訂ト今後ノ見透シ

全國ニ於ケル十六年度貯蓄目標カ三十五億圓増額セラレタルニ件ヒ、今般本縣ノ目標モ二千萬圓ヲ増加シ一億八千萬圓ト改訂セラレタルカ、之カ達成ニハ餘程ノ努力ヲ要スルモノト見ラレ居レリ。即チ現在迄ノ處從前ノ目標額ヨリセハ大體順調ニ推移シツ、アルモ、時局産業ニ見ルヘキモノナク追加豫算ニヨル政府支拂増加ニモ殆ト其ノ恩惠ニ浴シ

得サル當縣ニ於テ、今後貯蓄増加ノ新タナル目標トナルヘキ目星シキ
モノトテハ米穀生産獎勵金約四百万圓及桑園整理助成金二百四十万圓
ト合セテ六百万圓餘ニ過キス、残り一千數百万圓ヲ如何ニシテ増加ス
ルカ、問題乍ラ、戦時下適應スル程度ニ更ニ生活程度ヲ切詰メル一方、
中小商工業者ノ整理統合ヲ促進シ遊休勞力ヲ必要ナル方面ニ振向クル
コトニヨリ收入ノ増加ヲ圖ルコトモ考ヘラル、ヲ以テ、指導如何ニヨ
リテハ必スシモ目標額達成ハ不可能ナラスト見ラル。

參考計表

(一) 當店主要勘定

十二月

前月

前年同月

為替

流入 一九九六〇千圓

五七九〇千圓

一五六五〇千圓

流出 二二三〇

五六八〇

三五七〇

入超 七七三〇

一一〇

一二〇八〇

兌換券

發行 二五四三一

三九一三

二三〇四一

還收

七四四五

四八九九

六二〇四

發行超

一七九八六

(還收超) 九八六

一六八三七

(松本) 九

(二) 取引先普通銀行主要勘定

	十二月廿日現在	前月同日比	前年同日比
預金	二二二、三六九 <small>千圓</small>	(+) 四、一四八 <small>千圓</small>	(+) 四、九一五八 <small>千圓</small>
借入金	一〇、三〇〇	(+) 三、八〇〇	(+) 三、〇〇〇
貸出	一〇七、一二八	(+) 八六〇	(+) 七、二二六
内製糸資金	四〇、一五四	(+) 三、四〇九	(+) 一、四〇五
所有々價證券	九〇、二一四	(+) 八九五	(+) 三、三七八二
内國債	四二、六九二	(+) 一、〇三三	(+) 一、六五九一
ヨールロ一ン	六五〇	(+) 五〇	(+) 五五〇

(松本) 一〇

(三) 取引先普通銀行製糸資金貸出

	本年	前年	比
十二月十五日現在	四一、二二八 <small>千圓</small>	四二、七九一 <small>千圓</small>	(-) 一、五六三 <small>千圓</small>
端境期以降最高期迄増	二四、二八一	三、九八四	(-) 一、五五六
最高期以降減	四、一五六	一〇、八三六	(-) 六、六八〇
回 收 率	一七・一%	二七・一%	(-) 一〇・〇%

(同管下預貯金增加狀況、本年下期產組貯金、十月迄、他八十一月迄)

銀行預金

增加額 增加率 增加額 增加率 增加額 增加率

上期 三三、一〇五^{千圓} 一六二% 二二、三七一^{千圓} 一六、一% 八、三九五^{千圓} 一〇、一%

下期 一五、五五二 六七 二六、八三〇 一五、七 一一、二七八 九〇

合計 四七、六五七 二四一 五〇、五四〇 三四三 二、八八三 一〇、二

郵便貯金

上期 一四、一五九 八七 一五、八六一 一二八 一、七〇二 四、一

下期 一四、四九七 八二 二一、五八八 一五四 七、〇九一 七、二

合計 二八、六五六 一七七 三七、四四九 三〇二 八、七九三 二、二五

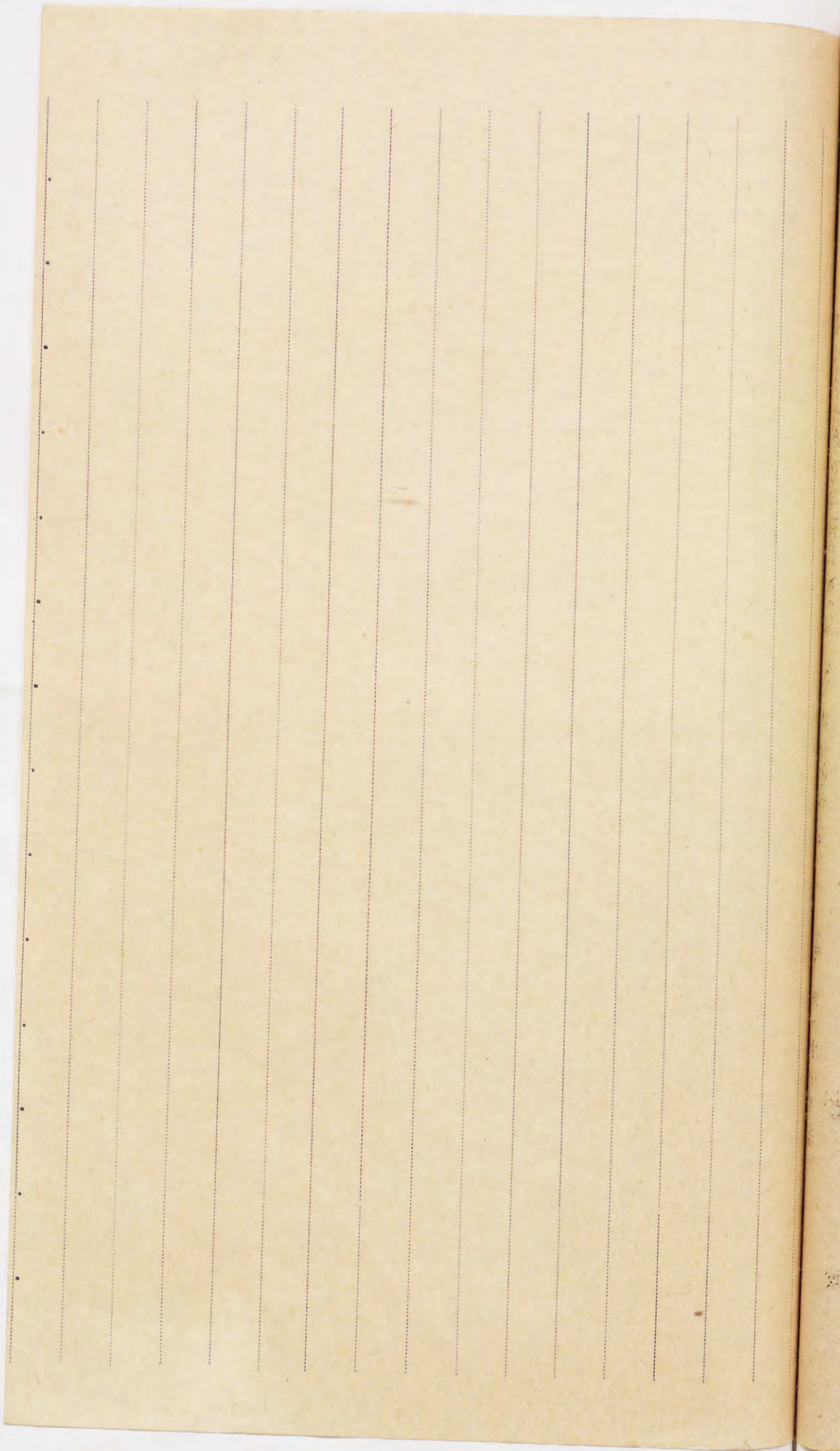
產組貯金

上期 一〇、一〇二 九九 一一、五七八 一六、一 一、四七六 六、二

下期 一六、六九〇 一四九 一八、五〇四 二二、二 一、八一四 七、三

合計 二六、七九二 二六三 三〇、〇八二 四二、〇 三、二九〇 二、五七

(松本) 一一二



Vertical text on the right page, likely bleed-through from the reverse side. The characters are faint and difficult to decipher, but appear to be arranged in columns. Some legible characters include "一", "二", "三", "四", "五", "六", "七", "八", "九", "十", "十一", "十二", "十三", "十四", "十五", "十六", "十七", "十八", "十九", "二十".

支

支店長
次長



總

裁

殿

昭和十七年一月三十一日

松本支店長

一月中縣下金融狀況別紙ノ通り御報告申上候也



昭和十七年一月中金融報告

松 本 支 店

- 一、年末資金回歸順調
- 二、製糸業整備ノ進捗狀況ト銀行ニ及ス影響
- 三、纖維製品配給會社招致運動ト銀行
- 四、本年度縣下繭生産基礎目標ハ達成ノ見込
- 五、衣料切符制ニ業者ノ整理統合促進サレン

一、年末資金同歸順調

政府米買上進捗ト一般縣民ノ緊張ヲ映シテ管内預貯金ノ増加ハ極メテ
順調、取引先普通銀行預金ハ廿日迄ニ三、六一七千圓（前年同期ニ、八五
三千圓）ノ増加ヲ示シタル外、郵便貯金ノ増加モ目覺シク中旬末迄ニ
於ケル過剰金ハ五六九四千圓ト前年同期ニ比シ八十万圓餘ヲ増加セル
等ノコトモアリ當店兌換券ハ廿三日迄還流ヲ續ケ累計ニ七四三〇千圓
ト年末流出額ノ一二・七%（昨年一一・三%）ニ達セリ。

斯クテ各銀行ノ手許ハ製糸資金ノ回收ト相俟ツテ著シク寛ロキ當店貸
出ヲ完済セル上、中央市場ヨリノ借入金モ大部分返済セルカ、月末ニ
接近シ興債引受四八〇千圓ノ外米穀資金並ニ月末決済資金ノ需要モ加

ハリタレハ、中央引締ノ折柄トテ富店貸出ハ廿六日以降漸増シ末日ニ
一〇〇千圓ノ残高ヲ以テ越月セリ。

一、製糸業整備ノ進捗状況ト銀行ニ及ス影響

縣下製糸家ハ舊臘發表セラレタル製糸業整備要項ニ基キ二月末日迄ニ
現在ノ設備益數五万益（内實際運轉益數二万八千益）ヲ約半數程度ニ
整理スヘク目下各地ニ於テ寄々折衝中ナルカ、愈々實際ニ整理合同ヲ
行フトナレハ種々ノ困難ヲ生シ急速ニハ進捗セス、廿五日縣製糸業組
合ニ於テ各地ノ整理合同案ヲ取纏メタルモ満足ナル結論ニハ達セサル
爲、來月初旬更メテ第二回ノ會合ヲ行フコト、ナレリ。
整備案發表ノ當初ハ製糸家モ此際轉廢業セハ設備並ニ權利双方ニテ紛

ク共設備釜一釜當リ千圓以上ニ換價シ得ルコトナレハ、寧ロ此際纏リ
タル金ヲ擱ミテ廢業セントノ氣配モ一部ニ窺ハレタル程ナルカ、扱テ
靜カニ考フレハ先ツ第一ニ現在他ニ轉業スヘキ適當ナル職業ナク、又
廢業ニヨリ釜當リ千圓以上ノ一時金ヲ入手シ得ルトハ謂ヘ十六年中製
糸業績カ平均運轉釜一釜當リ二百圓以上ノ利益ヲ生シタルコトヨリ考
慮セハ必スシモ好條件ナラス、旁々父祖傳來ノ職業ヨリ離ル、コトノ
愛惜ノ情モアリテ製糸業整備ハ此處遲々トシテ涉ラサル有様ナリ。乍
併當局トシテハ業者カ二月末日迄ニ自發的ニ整理合同セサレハ強權ヲ
發動シ、且ツ其ノ場合ハ更生金庫ノ利用モ許サストノ意向ナリト傳ヘ
ラル、ヲ以テ、一定規準以下ノ非能率的製糸工場ハ結局期日迄ニ否願

ナク合同スルコト、ナルヘシ。

一方大製糸ハ此際轉廢業スル中小製糸ヨリ製糸業權ヲ買収シ生糸製造
割當量ヲ増加スルコトニ因リ自己ノ工場ヲフルニ運轉スヘク密ニ手ヲ
廻シ買煽リタル爲、中小製糸側ノ賣惜ミト相俟ツテ昨今製糸權利ハ生
糸生産割當十貫ニ付百五十圓カラ二百圓見當ヲ唱へ居レルモ實際ノ賣
買ハ目下ノ處多カラサル模様ナリ。

次ニ右製糸業整備ノ當址銀行ニ及ス影響ヲ窺フニ、製糸家ニ對スル固
定貸ノ多クハ工場建物等ノ不動産擔保ニテ、今回之カ整理合同ニヨリ
更生金庫ニ引取ラル、コト、モナラハ固定貸ノ内回收シ得ルモノ不尠
ト見ラル。

三、纖維製品配給會社招致運動ト銀行

衣料ノ地方配給統制機關トシテ近ク設立サルヘキ縣纖維製品配給會社
（資本金百五十萬圓全額拂込ノ豫定）ハ本社ヲ松本、長野ノ例レニ設
置スルヤニ付頃來紛爭中ナリシ處、此程縣ノ斡旋ニヨリ會社ヲ二分シ
企劃及庶務ハ縣トノ聯絡ノ便宜上長野ニ、經理會計及營業ハ取扱實績
多キ松本ニ置クコト、シ解決ヲ見タリ。茲ニ至ル迄兩地ノ間ニ猛烈ナ
ル招致運動展開シ、之ニ裏面ヨリ各地元銀行モ加ハリテ一時政治問題
化スル氣配モ窺ハレタリ。即チ業者トシテハ企業整備ニヨリ轉廢業ヲ
余儀ナクセラル、者ノ一部ヲ新設會社ニ收容スル爲勤務ノ便宜上本社
ヲ地元ニ誘致セントセルカ、銀行ハ融資分野狹隘化ノ折柄新放資口開

拓ノ爲之ヲ援ケテ自行ヲ有利ニ導カントシ、競争ハ相當激甚ナリシ模様ナリ。而シテ新クノ如キ問題ハ富縣ノ如ク縣廳所在地ト經濟ノ中心地ト離ル、所ニ於テハ此種統制會社カ新ニ設立セラル、毎ニ生スヘキヲ以テ、之カ解決策ノ一ツトシテ縣代行機關ノ設置カ要望セラル、一面、銀行側ニ於テモ共同融資ノ實施等考究セラレ居レリ。

四、本年度縣下繭生產基礎目標ハ達成ノ見込

本年度蠶糸生產計畫決定ニ伴ヒ本縣ノ繭生產額ハ計畫基礎數量八百六十万貫、努力目標九百四十二万五千貫ト割當テラレタルカ、十六年度收購高ハ八百四十万貫ニシテ、更ニ桑園整理モ進捗シタレハ、果シテ計畫基礎數量サヘ達成シ得ルヤ否ヤ危惧スル向モアリ、養蠶家側ニハ

早クモ目標達成困難ヲ唱ヘテ買入掛目ノ引上、肥料ノ増配ヲ要望スル者モ現ル、ニ至レリ。

然レ共昨年ノ減収ハ稀有ノ大霜害並ニ其ノ後ノ天候不順ニ原因アリト云フヘク、一方昨年中整理セラレタル桑園ハ縣下全體ノ一割六分約一万町歩ニ及ヒタルモ右ハ山間部、傾斜地等味悪シキ場所ノ整理ヲ主トセルコトナレハ桑園カ減反セル割合ニハ收爾高ハ減少セサルモノト見ラレ、殊ニ縣當局ニ於テモ爾増産ニ付積極的指導ヲナシ居ルコト、テ、肥料、勞力不足ナリトハ謂ヘ、天候サヘ順調ナラハ計畫基礎數量達成ハ必スシモ困難ナラスト見ラル。

五 衣料切符制ニ業者ノ整理統合促進サレシ

綜合衣料切符制實施ノ發表ハ、一般ニ時局下當然ノ措置トシテ迎ヘラレ、縣下ニ於ケル從來ノ消費ヨリ見レハ甲乙兩種切符何レモ充分余裕アリトシ、一部ニハ點數寧口寬大ナリトノ聲サヘ聞カル。小賣商方面ニ於テハ賣行ハ從來ニ半減スヘシトノ觀測モ行ハレ居ルカ業者ハ既ニ今日アルヲ豫期シ居リ且ツハ手持薄ノ折柄トテ、現在ノ處左シタル動搖モナク、唯十日間ノ營業休止ノ爲資力乏シキ小賣商ノ中ニ八月末手詰リトナリタル向モ多少アル由ナリ。

今後消費者トシテハ買入點數自ラ制限セラル、コト、テ購入ニ際シテハ當然慎重ナル態度ヲ採ルヘク、サレハ顧客ハ手持豊富ニシテ選擇自由ナル大商店ニ集中シ弱小ナル小賣商ハ没落ヲ免レサルモノト見ラレ

目下進捗中ノ小賣部門ノ整理統合ハ更ニ急速ニ進展スヘシトシテ注目
セラレ居レリ。

尙今回ノ切符制ニ於テ純絹製品ハ點數四分ノ一ノ優遇ヲ受クルコト、
テ、當地蠶糸冢筋ハ大イニ好感ヲ寄せ居レリ。

考計表

(一) 當店主要勘定

		一	月	前	月	前	年	同	月
爲	替								
流	入	一、六八〇	千円	一九九六〇	千円	一、七五〇	千円		
流	出	一八、一四一		二、四七二		一、四五八〇			
出	超	一六、四六一		(入超) 一、七四八八		一、二八三〇			
兌	換								
券									
發	行	一、三六〇		二、五四三一		一、三九四			
還	收	二七、二一五		七、四四五		二、三六二三			
還	收	二五、八五五		一、七九八六		二、二二二九			
月	末								
貸	出								
殘	高								
一	般	二、一〇〇		三、九〇〇		二〇〇			
補	償	六〇三		七〇六		九一一			

(松本) 一〇

(二) 取引先普通銀行主要勘定

項目	一月廿日現在			前月同日比			前年同日比		
	金額	借入金	貸出	金額	借入金	貸出	金額	借入金	貸出
預金	二三〇、四四六	四〇〇〇	一〇一、七七五	八〇、七七	六三〇〇	五三五三	五、一八六	五〇〇	四、五五
内製糸資金			三六八二七			三、三二七			一、五〇四
所有々價證券			九五四二〇			五、二〇六			三、五五八
内國債			四七三二〇			四、六二八			一、七三二
日比谷銀行			九〇〇			二、五〇			五〇〇

(三) 取引先普通銀行製糸資金貸出

	本年	前年	比較
一月十五日現在	三七五八一 千圓	三八七四七 千圓	(-) 一・一六六 千圓
端境期以降最盛期迄増	二四二八一	三九八四三	(-) 一五五六二
最高期以降減	七八〇三	一四八八〇	(-) 七〇七七
同 收 率	三二・一 %	三七・三 %	(-) 五・二 %

支店長
次長

昭和十七年二月二十八日

總



裁

殿

二月中縣下金融狀況別紙ノ通り御報告申上候也

松本支店長



昭和十七年二月中金融報告

松
本
支
店

- 一 縣下金融閑散、兌換券還流著増
- 二 感謝貯蓄ハ好成绩
- 三 生糸荷動キ停頓ニ絹織物價格引下論擡頭ス
- 四 繭短纖維ノ價格未決定ノ爲業者ノ苦惱甚シ
- 五 繭價引上要望サル
- 六 長野縣信聯ト縣購販聯トノ合併
- 七 寒天製造業況

一、縣下金融閑散、兌換券還流著増

縣下經濟界ハ例年二月ハ日星シキ資金ノ動キモナク沈靜期乍ラ本年ハ殊ニ製糸業者ヲ首メトシ生糸問屋、木材業者等各業界ノ整備統合ニ直面シ各々其對策ニ忙殺サレ居ル爲金融全ク閑散、漸ク纖維統制會社設立ニ伴フ資金需要カ問題トナル程度ナリ。

一方シンガポール陥落ニ人氣一段明朗トナリ、折柄實施中ノ感謝貯蓄ハ豫想以上ノ好成績ヲ收メ銀行預金ノ増加モ顯著ナリシカハ銀行ノ手許漸次潤澤ヲ加へ、前月ヨリ三一〇〇千圓ノ殘高ヲ繰越シタル當店貸出ノ如キモ中旬末迄ニハ一應完済セラレタルカ、月末ニ接近シ酒造稅移納資金ノ外應募社債拂込代金等ノ資金需要擡頭シタレハ當店ノ融資

四〇〇千圓ヲ仰キタル向アリタリ。

斯カル情勢ヲ映シテ兌換券ノ還流頗ル好調、月中還收超五二一千圓
ト前年同月ノ還收超三一六千圓ヲ遙ニ凌駕セリ。

二、感謝貯蓄ハ好成績

紀元ノ佳節ヲ期シテ一齊ニ開始セラレタル感謝貯蓄運動ハ管下關係各
機關ノ熱心ナル宣傳勸誘アリ、旁々シンガポール陥落ノ大戦果ニ縣民
ノ皇軍ニ對スル感謝ノ熱意愈々昂リタル爲、極メテ好成績ヲ收メツ、
アリ。

之ヲ銀行預金ニ付觀ルニ當店取引先普通銀行ノ月初來廿日迄ノ預金増
加額ハ八四九八千圓（前年同期増一六〇千圓）ト好調ヲ示シ、殊ニ定

期特當等ノ貯蓄性預金ノ増加カ大半ヲ占メ居レリ。其他勸銀二支店ハ特號戰時貯蓄債券ノ割當額合計十萬圓ヲ街頭ニテ三日間ニ賣盡シ、又郵便局、信用組合方面モ成績良好ナリト謂ハレ縣民ノ貯蓄ニ對スル關心昂揚セルコトカ窺ハル。

三、生糸荷動キ停頓ニ組織物價格引下論擡頭ス
衣料切符制ノ製品界ニ對スル影響ハ豫想外深刻ナルモノ、如ク去月廿日以來生糸ノ新規商談ハ極メテ寥々、纔カ二同日以前ニナシタル先約定物カ弗々引取ラレツ、アリ、ソレモ機場ノ金繰リ窮屈ナル折柄荷物ノ引取延期ノ申出散見サル、有様ニテ、斯ル情勢カ今後モ繼續スルニ於テハ當地生糸問屋ニ對スル打撃モ不尠ト見ラル。

右ノ如キ情勢ニ鑑ミ將來生糸ノ消費ヲ増加スル爲ニハ現在ノ如キ不
運ナル絹織物價格ヲ改メ之ヲ引下クル要アリトノ意見一部ニ行ハレ注
目セラル。即チ現在ノ絹織物公定價格ハ生糸カ百斤千六百圓見當ヲ唱
ヘタル當時決定セラレタルモノニテ、現在ノ國用生糸公定價格一十
四中D格十六貫建ニ換算シテ千五百圓）ヨリ見ルトキハ高キニ失スル
ノミナラス、生糸ノ最終販賣價格ソノモノカ蠶系統制會社ノ收受スル
統制料ニヨリ不當ニ高ク決定セラレ居ルヲ以テ、斯カル不合理ヲ是正ス
ルコトニヨリ絹織物價格ハ可成リ低下スヘク、斯クシテ國內ニ於ケル
消費増加ハ固ヨリ東亞共榮圈ヘノ輸出モ亦可能ナルヘシ。

元來蠶系統制會社ノ徵收スル統制料ハ之ヲ積立テ以テ糸價ノ變動ヲ調

整スルコトヲ主眼トセルモノナルカ、生糸ノ國內消費ヲ主トスル今日
其ノ價格ハ自主的ニ決定シ得ルヲ以テ、生糸十貫ニ付一五二圓（統制
會社買入價格七四八圓ト同賣渡價格九〇〇圓トノ差額）ト云フカ如キ
多額ノ積立ハ必要ナク、之ヲ縮減スルコトニ因リ繭價ニ於テ多少ノ引
上ヲ見込ムモ生糸ノ會社賣渡價格ハ不貽低下シ得ヘシト謂フニアリ。
尤モ絹織物價格ノ急激ナル引下ケハ其影響スルトコロ甚大ナルヘキヲ
以テ蠶糸統制會社カ從來收受セル統制料ノ一部ヲ崩シテ手持商品ニ對
スル補償ヲナスコトモ考ヘラル、カ、兎モ角絹織物價格引下輪ノ擡頭
ハ注目ニ値スヘシ。

四繭短纖維ノ價格未決定ノ爲業者ノ苦惱甚シ

一粒繰糸法ニ依ル繭短纖維ノ製造ハ愈々試験期ヲ脱シ旁々設備モ整ヒ
タレハ今春來縣下業者ハ一齊ニ操業ヲ開始セルカ、之カ價格ハ昨秋以
來急速ナル決定カ要望セラレ乍ラ今ニ至ルモ決定セス、搗テ、紡績業
者ノ公價決定ヲ有利ニ導カントシテ買止メ策動等アリテ、製品出來ス
ルモ販賣シ得ス、業者ノ苦惱甚シキモノアリ。

業者ハ原料ノ配給ヲ受ケ事業ヲ開始シタル以上今更職工ヲ休マス譯ニ
ハ行カス、サリトテ製品ノ賣却ヲ爲シ得サル爲資金ノ調達ニ頗ル忙シ
ク、滞貨累積ニツレ之カ金利倉敷料ノ負擔モ増加スル外、何分ニモ全
ク新製品ニテ果シテ現在製造シツ、アル製品カ紡績業者ニ歡迎セラ
ル、ヤ否ヤハ實際賣却セサレハ明カナラサルヲ以テ、自己ノ製品ニ對ス

ル一抔ノ不安モアリテ二重ノ苦ミヲ味ヒツ、アリ、業者ハ一日モ早ク
右製品ノ規格並ニ價格カ決定スルコトヲ切望シ居レリ。

五 繭價引上要望サル

十七年度ニ於ケル蠶糸統制會社ノ繭標準買入價格決定ヲ目前ニ控ヘテ
養蠶家ノ間ニ買入價格引上ヲ要望スル聲澎湃トシテ起リツ、アリ。即
チ曩ニ十六年度ノ標準買入價格ハ六十掛（糸量十四匁トシテ八圓四十
錢）ト定メラレタルカ、實際ノ生産費ハ諸物價騰貴ニ伴ヒ昂騰シ、縣
養聯ノ調査ニ依ル上繭一貫匁當ノ生産費ハ

支出	自給費	七圓九十錢八厘
	現金支出	四圓五十錢一厘
合計		十二圓四十三錢九厘

副 收 入

二圓二十二錢七厘

差引上繭一貫當生產費

十圓二十一錢二厘

ニシテ、之ヲ前記買入掛目ノ基礎トナリタル標準生產費七圓二十二錢五厘ト比較セハ二圓九十八錢七厘ノ赤字ヲ示セリ。此ノ數字ハ稍高キニ失スル嫌ヒアルモ全縣平均ヲ見レハ生產費ノ相當昂騰セルハ疑ヒナク、ソノ原因ハ主トシテ勞賃並ニ肥料代ノ著増ニ因ルモノニテ、殆ト引下ケノ餘地ナキモノト見ラル。斯クテハ養蠶家ノ苦痛不尠、延イテハ繭増産ニ對スル熱意ヲ失ハシムルノ懼アリ。

一方國內纖維資源ノ充足ハ愈々急務トセラレ、桑園減反、肥料減配ニモ拘ラス產繭確保ヲ要請セラレ居ル折柄、此際妥當ナル生產費ヲ基礎

トシテ買入掛目ハ尠クトモ六十五掛見當ニ迄引上ケ、以テ養蠶家ノ一定利潤ヲ確保スルト共ニ繭増産氣構ヲ刺戟スルノ要アリトセララル。

六 長野縣信聯ト縣購販聯トノ合併

長野縣信用組合聯合會ハ政府ノ農業團體統合ノ方針ニ鑑ミ三月一日ヲ期シテ長野縣購買販賣組合聯合會ト合併シ、新ニ長野縣信用購買販賣利用組合聯合會トシテ發足スルコト、ナレリ。

近年縣信聯ヨリ縣購販聯ヘノ貸付ハ年最高額五百萬圓ニモ迫ヒ、若シ合併ニ依リテ斯カル巨額ノ資金カ自己資金トシテ放漫ニ運用セララル、事アラシカ、今後ノ經營ニ重大ナル影響ヲ及ホスヘキヲ以テ、ソノ資金運用方法ハ大イニ注目セラレ居レリ。新聯合會ニ於テモ斯カル點ニ

付テハ充分ナル注意ヲ拂ヒ、信用事業ヲ擔當スル金融部ト購販事業ヲ擔當スル經濟部トハ内部ニ於テ全然別經理トナシ、一應試算表モ別個ニ作成シテ最後ニ合一スルナトノ方法ニ依リ、苟クモ名目上自己資金トナリタルヲ以テ運用放漫ニ流ル、カ如キハ嚴重ニ警戒スル方針ナリト謂フ。

七 寒天製造業況

縣下特産ノ一タル寒天ノ製造ハ十二月中旬ヨリ開始セラレタルカ天候順調ニ恵マレ二月下旬ヲ以テ略々終了、今年度ハ原藻ノ作柄不良ナリシ爲原料仕入著減シ、製造額ハ昨年ノ三割減約百五万斤、五百五十万圓見當ト見ラレ居レリ。

當地方ニ於テハ内需向タル角寒天ノ製造ヲ主トスルモ、昨年ハ砂糖消
費規制ニ依ル菓子類製造減ニ伴ヒ内地一般需要ハ減少ノ氣配アリ。更
ニ輸出モ社絶シタレハ一時ハ在荷過剩ヲ懸念セラレタルカ一般菓子原
料不足セル折柄トテ製菓業者ノ需要豫想外ニ強調ヲ示シ、搦テ、特殊
方面ノ需要モ多額ニ上リタル結果、在荷ハ殆ト消化セラル、ニ至レリ。
斯クテ新物出廻リニ依ル荷凭レノ懸念モ薄ラキ、戰果ノ擴大ト共ニ南
方ヘノ輸出増加モ期待セラレテ茲許業界ノ人氣明朗ナルモノアリ。

參考計表

(一) 當店主要勘定

		二月		前月		前年同月	
		千圓		千圓		千圓	
爲替	流入	六九〇〇	一六八〇	三八八〇			
	流出	六一八〇	一八一四一	六一〇〇			
	入超	七二〇	(出超) 六四六一	(出超) 二二二〇			
兌換券	發行	三七九〇	一三六〇	三五八二			
	還收	九〇〇二	二七二一五	六六九八			
	還收超	五二一二	二五八五五	三一一六			
月末貸出殘高	一般	四〇〇	二一〇〇	二九七			
補償		五五〇	六〇三	九〇九			

(松本) 一三

(二) 取引先普通銀行主要勘定

	二月廿日現在	前月同日比	前年同日比
預金	二三六八八七 <small>千圓</small>	(+) 六四四一 <small>千圓</small>	(+) 五八一 <small>千圓</small>
借用金	三五〇〇	(-) 五〇〇	(+) 一三〇〇
貸出	一〇五〇六一	(+) 三二八六	(+) 一〇九四八
内製糸資金	三六七六八	(-) 五九	(+) 一九六三
所有々價證券	九七二八一	(+) 一八六一	(+) 三六三八九
内國債	四七三三四	(+) 一四	(+) 一七二〇九
コロン	四〇〇	(-) 五〇〇	(-) 三五〇

(三) 取引先普通銀行製糸資金貸出

	本年	前年	比
二月十五日現在	三六五〇五千圓	三五六〇七千圓	(+) 八九八千圓
端境期以降最高期迄増	二四二八一	三九八四三	(-) 一五五六二
最高期以降減	八八七九	一八〇二〇	(-) 九一四一
同 收 率	三六・五 %	四五・二 %	(-) 八七 %

支店長
次長

昭和十七年三月三十一日

總裁殿

三月中縣下金融狀況別紙ノ通り御報告申上候也

松本支店長



昭和十七年三月中金融報告

松 本 支 店

一、通貨需要減退、銀行ノ手許漸ク引緩ム

二、製糸資金ハ回收遲延ノ見込

三、生糸問屋ノ企業合同

四、蠶糸標準價格据置卜決定

五、縣下國民貯蓄目標額

一、通貨需要減退、銀行ノ手許漸ク引緩ム

縣下經濟界ノ活動ハ依然不活潑ニシテ、殊ニ衣料切符制等ニ依ル消費
規正ノ強化ニ商業界ノ沈滯甚シク通貨需要ハ愈々減退、下旬恆例ノ肥
料種子ノ購入等農耕準備ノ爲ノ通貨需要モ今年ハ縣信聯、縣購販聯ノ
合併ニ伴フ肥料代金ノ振替拂込制ニ影響セラレ左シタルコトナク、當
店兌換券ハ月中還收超過二百九十萬圓ニ達シ前年同月ニ比シ二百三十
萬圓ヲ増加セリ。

製糸資金ノ回收ハ春挽本格化ト共ニ好調トナリタルモ、回收資金ハ殆
ト借用金ノ返済ニ充テラレ搗テ、郵便貯金、税金、米穀拂下代金等國庫
金引上ニ由ル資金需要モアリ上旬各行ノ手許ハ窮屈トナリタルモノ、

如ク當店融資モ百二十万圓ニ迫ヒタリ。然ルニ中旬以降マネー返濟一段落等ニ依リ銀行ノ手許資金モ稍餘裕ヲ示シ、當店貸出モ中旬末迄ニハ完濟セラレ、更ニ月末ニ接近シテ桑園整理助成金二百万圓ノ流入モアリテ、銀行ノ手許漸ク引緩ムニ至レリ。右ヲ映シテ客月増加好調ノ後ヲ承ケタル銀行預金ハ農村ノ居喰期ノ關係モアリテ月央迄ハ伸張ミ氣味ナリシモ下旬ニ至リ漸ク増勢ニ轉シタリ。

三、製糸資金ハ回收遅延ノ見込

取引先銀行ノ製糸資金回收ハ二月中極メテ鈍調ナリシモ三月ニ入ルヤ春換ノ進捗ト共ニ漸ク好轉、三月一日ヨリ十五日迄ノ回收額二百三十万九千圓、回收率八九・六%ト前年同期ヲ凌駕スルニ至レリ。然シ乍

ラ貸出最高期以降三月央迄ノ回收率ハ四六・二％ト前年ノ五三・一％ニ尙
及ハス總體的ニハ回收遲延ノ傾向窺ハル。本年度製糸資金ハ繭價安ト
仕入數量ノ減少ヲ映シ前年ニ比シ激減セルニ拘ラス、回收ノ斯ク遲延
セルハ製糸家ノ手持原料繭消化セラレサルニ因ルモノト謂フヘク即チ
端境期ニ於ケル製糸家ノ持越古繭多カリシニ加ベ、對米輸出杜絶ニヨ
ル生糸生産計畫改訂ノ結果製造割當量減少シタレハ製糸家ハ過剩繭ヲ
抱クニ至リタルコト、然シテ右ノ過剩繭ハ短纖維田ニ振向ケラル、コ
ト、ナリタルモ、短纖維ノ價格並ニ規格容易ニ決定セサリシ爲製造進
捗セス、從テ原料繭ノ資金化涉々シカラサリシコトニ因ルモノト見ラル。
今後ノ回收ヲ豫想スルニ、製糸家ハ四月一杯ヲ以テ割當量ヲ殆ト縮キ

ツクスモ猶遺剩藪ヲ擁シ、更ニ五、六兩月ノ農繁期ハ農村ヘ勞力供出ノ目的ヲ以テ從業者ヲ歸農セシムルタメ操業中止ノ豫定ナレハ、回收ノ遅延ハ免レス、端境期殘高ハ膨脹ノ儘新年度ヘ繰越サル、モノト見ラル。

管内銀行製糸資金回收狀況

最高期	一 月	二 月	三月一日 — 十五日	合 計	回 收 額		回 收 率	
					本年 度	前 年 度	本年 度	前 年 度
十二月末	中	中	日		五五四 <small>千圓</small>	一三七二 <small>千圓</small>	二二八 <small>%</small>	三一九 <small>%</small>
	中	中			二八六四	三二六一	一一八	八二
	中	中			四九一	三二二六	二〇	八一
					三三二九	一九六三	九六	四九
					一一二二五	二一七一	四六二	三三一
					二四二八一	三九八四三	一〇〇〇	一〇〇〇

三 生糸問屋ノ企業合同

縣下生糸問屋六十二軒ハ南信、北信、諏訪ノ三共同施設組合ノ統制下ニ各自獨立ノ營業ヲ繼續シ來レルカ、糸價公定ノ今日取引ハ往年ノ旨味ヲ喪失シ、搗テ、取扱手数料ノ限定、生糸配給切符制ニ伴フ取扱數量ノ制限等ニヨリ業績思ハシカラス旁々時局ノ要請モアリ豫テ合同氣運ニ向ヒツ、アリタル處、製糸家ノ整理統合進捗ノ結果地盤ニ變化ヲ生シタル中小問屋カ合同ヲ要望ノ聲一層高ク、更ニ機業地問屋ノ整備ニモ刺戟セラレテ愈々各組合毎ニ企業合同ヲ行フコト、ナリ、南信ハ三月一日北信及ヒ諏訪ハ四月一日ヨリ夫々實行スルコト、ナリタリ。尙右合同ノ形態ハ各自ノ營業權ハソノマ、存置シテ店舗ハ閉鎖シ、統

制團體タル共同施設組合ニ新ニ專業部ヲ設クル態様ヲ採リ斯クテ組合員ハ過去ノ実績ヲ持寄り今後ノ取引ハスヘテ當部ニ於テ擔當スルコト、ナレリ。

四、蠶糸標準價格据置ト決定

業界注目ノ的タリシ十七年度蠶糸標準價格ハ三十日ノ蠶糸委員會ニ於テ前年通り据置キト決定、豫テ引上ケヲ要望セラレタル繭買入價格ニ就テハ、掛目ハ現在ノ蠶ニ据置クモ檢定格付方法ヲ從來ノ十四中標準ヨリ二十一中標準ニ變更スルコトニ依リ實質上半掛程度ノ値上リトナリ、更ニ蠶糸統制會社ヨリ約一掛半ニ相當スル生産獎勵金ヲ交付スルコト、ナリタレハ、結局養蠶家ノ手取りハ二掛一糸量十四匁トシテ一